

アジアの縮図マレーシア

マレーシア政府観光局



「アジア大交流時代」の到来

- ▶ 21世紀は「アジアの時代」(世界の成長センター)
- ▶ 全世界の人口の6割がアジアに(平均年齢20代)
- ▶ 急速に拡大する中間所得層の旺盛な購買力
- ▶ 2015年末に「ASEAN共同体」発足(6億の市場)
- ▶ 「ヒト・モノ・カネ」の流れが一挙に加速化

現在の日本に求められる人財

- ▶ 戦後70年のグローバルな環境変化に対応
- ▶ 「アジアの時代」に、アジアの多様性を理解
 - 生産拠点から一大市場に変貌したASEANで活躍
- ▶ インバウンド急増(アジア8割)に伴う日本国内のグローバル化と観光・交流ビジネスの発展に寄与
 - 日本の「観光立国化」と「東京オリンピック2020」にむけて

マレーシア留学 / 研修の優位性

- ▶ アジアのエッセンスに溢れた国（多民族、多文化、多宗教）で複眼的視野を養い、「共生」の意味を問う

～ アジアの縮図マレーシア ～

- ▶ 英語のコミュニケーション力が上達（心理的な壁低い）
- ▶ 親日的な国民性と日本に対する高い関心
- ▶ 教育観光素材が豊富「マナベル・トラベル・マレーシア」
- ▶ 目覚ましい発展と躍動感を間近で体感
- ▶ 「ホット！」なマレーシアは、とても「心地よい国」

- マレー半島11州とボルネオ島2州の全13州と3つの連邦地区からなる連邦国家
- 日本の約9割の国土
- 人口約3,000万人
- 国土の約6割が熱帯雨林に覆われた自然豊かな国
- 多民族国家（マレー系、中国系、インド系と先住民族）
- 国語　：マレーシア語（英語も広く使われている）
- 国教　：イスラム教（但し信仰の自由は憲法で保障）
- 気候　：年間平均気温は約27～31℃
- 時差　：日本より1時間遅い
- 通貨　：リンギット（RM） 1リンギット約27円

※2016年1月現在

マレーシアの概要



めまぐるしく発展する首都・KL

- ▶ 首都KL - クアラルンプール
- ▶ 注目の首都圏開発 (KL/KV)
今後2020年にかけて発展
- ▶ 公共交通もますます充実
伝統 & 近代的な建造物が混在
- ▶ 人気の長期駐在先 (駐在員、
ロングステイヤー、留学生)
- ▶ グルメとショッピング天国



「ルックイースト」から「ルックマレーシア」へ

- ▶ 「東方政策」開始から30年+α
- ▶ これまでに、1万五千名以上のマレーシア人が留学や研修で来日
- ▶ 目覚ましい経済発展と豊かな社会の実現
- ▶ 2020年に向け国民一丸となった努力
 - ニューエコノミックモデル(NEM)と所得倍増計画
 - 政府変革プログラムと経済変革プログラム
 - 12の国家重点経済分野(NKEA:教育、医療、IT、観光、金融、KL首都圏開発を含む)

1. 国際化と共生のモデル

マレーシアは多民族国家

- マレー系
- 中国系
- インド系
- 先住民族

言語・文化・宗教の違う民族が
平和と繁栄を維持している



2. 親日的 & フレンドリーな国民性

- ルックイースト政策（日本に学べ）が浸透。
- 日本からの学校訪問やホームステイ受け入れに積極的。



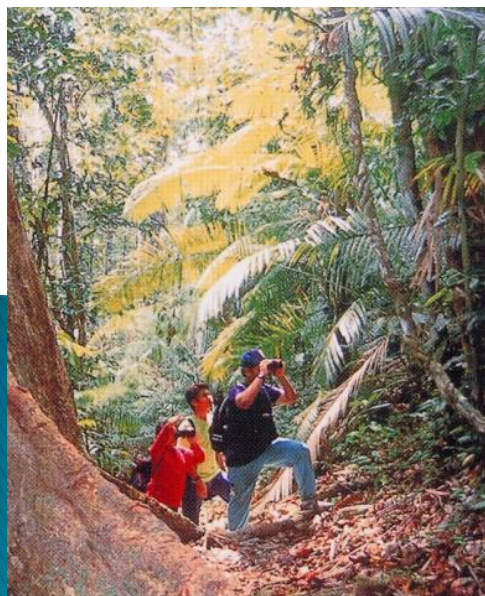
3. 東南アジア屈指の近代都市 クアラルンプール



超高層ビルが立ち並び、インフラの整備された都市
クアラルンプール

4. 豊かな自然と環境保護対策

- ★ 世界最大級 & 最古の熱帯雨林。
- ★ 国土の6割が森林
- ★ 自然保護の重要性を体験学習



5. 安全・清潔な環境で安心

マレーシアは日本と同様非常に治安のいい国。政治的にも安定。社会不安とも無縁。水道水も安心して使用可能。



TOURISM
MALAYSIA

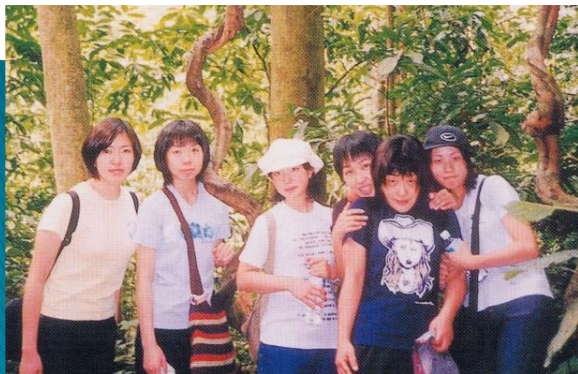
マレーシア政府観光局

6. 日本から7時間。時差1時間

日本からクアラルンプールまで約7時間
時差はわずか1時間



移動による肉体的負担が小さい
良い体調・十分な体力で教育効果UP！



TOURISM
MALAYSIA

マレーシア政府観光局

7. 英語でコミュニケーションできる国

高い英語レベル

Education First (EF)の英語能力指数でアジア第一位

コミュニケーションツールとしての英語力アップを目指す



TOURISM
MALAYSIA

マレーシア政府観光局

海外研修 = 「気づき」の体験

- ▶ 近くて遠いアジアとそこに生きる人々
 - ▶ 外から日本と自分自身を客観的に見つめ直し
自国の社会と文化を再認識 (Identityを意識)
 - ▶ 英語でのコミュニケーションの楽しさと難しさ
 - ▶ おもてなしの心とホスピタリティーの大切さ
 - ▶ 夢と思いを持って生きる同世代の若者に触発
 - ▶ グローバルな課題に対処 (環境、開発、平和)
- 「気づき」⇒「問題意識」⇒「人生観」&「世界観」



皆様のお越しをお待ちしています

TOURISM
MALAYSIA

Malaysia
Truly Asia



THANK YOU!

